

時局日誌 (四十四)

Y H 生

四月十八日

内務省では十八日部長級の異動を左の如く發令した。

廣島縣經濟部長 川上和吉

任内務書記官、命土木局道路課長

地方局監督課長 小林千秋

命地方局財政課長兼稅務課長

土木局河川課長 澤重民

命地方局監督課長

土木局道路課長 田中省吾

命土木局河川課長

大臣官房會計課長兼地方局財政課長

稅務課長 三好重夫

免地方局財政課長稅務課長

鳥取縣學務部長 小林誠一
補北海道廳拓殖部長

沖繩縣學務部長 渡邊瑞美

補三重縣學務部長

岩手縣事務官 大和田彌一

補鳥取縣學務部長

大分縣學務部長 高橋一郎

補岡山縣學務部長

三重縣學務部長 佐藤一郎

補廣島縣經濟部長

岡山縣學務部長 厚保雄

補福岡縣學務部長

岡山縣事務官 南益次郎

補大分縣學務部長

警保局理事官 毛利基

補佐賀縣警察部長

岐阜縣事務官 山本暲

補沖繩縣學務部長

佐賀縣警察部長 吉江勝保

命厚生省體力局施設課長

北海道拓殖部長 永野芳辰

福岡縣學務部長 柳川久雄

依願免本官(各通)

大江山麓に蠢動する敵二十九集團の掃蕩に活躍したわが各部隊は所期の目的を達し十七日作戰を終了、綜合戦果はつぎのとほりである。

遺棄死體一千二百十一、俘虜二百十三、

鹵獲品、追撃砲九、重機四、輕機二十六、小銃二百六十四、彈藥五萬以上。

支那方面艦隊司令長官は南支方面作戦に關し本日(十七日)正午(日本時間)左の宣言を發するとともに在上海總領事を通じ各国外交關係および海關側に通告せり。

「本職は作戦上の必要に基き昭和十五年七月十五日付杭州灣その他の海面出入禁止に關する本職の宣言に左記區域を追加することならびに本追加區域に關する效力は昭和十六年四月二十日午前零時(日本時間)以後發生すべきことを宣言す。

記 一、大鵬角西端南明島東端上川角、大横琴島南東端を順次に連ねる線ならびに東徑百十三度三十分線により圍まれたる海域

二、大鵬角連結線以北の大亞灣

三、田尾角、蓮花峰角連結線以北の甲子

港、神泉港および附近海面」

我中支軍左の通發表。

一、軍は昨十六日薄暮より錢塘江南岸方面に對する作戦を開始せり。

二、わが第一線各部隊は稀有の好天に恵まれ、空、地、水上より一體となり、隨所に敵を撃破しつづ富春、浦陽兩河峪および紹興方面より〇〇および〇〇方面に突進中にして、紹興は本十七日早朝わが有に歸せり。

ドイツ軍最高司令部は十七日午後一時ラヂオを通じて次のごとき特別發表を行つた。

『ドイツ空軍は去る四月十日英空軍のベルトン中心部およびボツダムの非軍事地帯爆撃に對する報復として、十六日日没より十七日朝にかけて十時間にわたりロンドンに反覆爆撃し、巨彈の雨をもつて敵首都の軍事施設、港灣設備等に大鐵槌を加へた』

なほドイツ軍當局の示唆するところによれば、今回の爆撃は開戦以來最大にしてかつ最も激烈なる爆撃で從來の目標と

なれる軍事施設よりさらに爆撃範圍を擴大し、ほとんどロンドン全市にわたり容赦なき徹底的爆撃を加へたものと祭せられる。

十六日夜より十七日拂曉にかけた獨空軍はロンドンを空襲、未だ當てない激烈な爆撃を行つた。右につき英軍當局は『ロンドンは猛烈な爆撃を蒙り、空襲は日没直後より拂曉にいたるまで續いた。死傷多數、損害甚大である。現在判明せるところでは獨機二機が撃墜された』と發表した。

十八日拂曉ドイツ軍司令部は殘餘のユーゴー軍が無條件降伏した旨發表した。獨軍司令部は十七日ユーゴーの降伏は十八日正午をもつて有效となす旨發表した。

ドイツ軍司令部は十七日ユーゴーの降伏につき次のごとく發表した。「ユーゴーの殘存部隊は十七日無條件降伏し十七日午後九時全戦線にわたり戦闘は停止され

た。降伏交渉はユーゴー政府が最早政府としての機能を停止してゐる事實に鑑み終始セルビア軍當局との間に行はれた。現在國王ペテル二世は何處にあるか全然不明だが、當方ではセルビア軍殘存部隊の降伏によりユーゴー王國は終焉を告げたとの解してゐる。」

四月十九日

蠶系統制法施行令(勅令第四七一號)、糸價安定施設法施行令(勅令第四七二號)、公布

わが小林部隊は十九日午前三時石浦に敵前上陸を完了した。

わが安藤、安井、藤井、染谷の各部隊は十九日午前二時五分を期し、突如海門に奇襲敵前上陸を敢行、ほとんど敵の抵抗をうけず上陸を完了した。又わが陸海軍の精銳部隊は本十九日早朝はめて緊密なる協同のもとに浙江省沿岸の要衝、鎮海、石浦、海門、温州附近に奇襲上陸を敢行し、引續き豫安の作戦を進めつつ

あり、陸海軍ともに有力なる航空部隊これに参加。

黃巖を攻略したわが諸部隊は懇ふ間もなく西北方に進撃を續け、當面の敵を撃破して二十日午後三時浙江の要衝臺州を完全に占領、引續き周邊の殘敵を掃蕩中。

ドイツ側情報によれば希臘政府はエジプトに逃亡し、此逃避行を背じなかつた。ユリジス首相は英軍の手で暗殺された。

十九日午後二時半ドイツ軍司令部は次の通發表。一、オリンボス山をめぐるギリシア戦線においてドイツ軍は、敵に猛攻を加へた結果、同山を占領、オリンボス山上にハーケンクロイツ旗がひるがへつた。一、さらに南進せるドイツ軍は中部ギリシアの交通の要衝ラリツサ市を占領せり。一、ドイツ空軍はギリシア東西兩海岸を攻撃し二萬九千トンの敵艦船を爆沈した。

歐洲新秩序に對する獨佛協力ならびに恒久平和條約締結に關する會議再開につ

き獨側は獨佛協調の條件について多少の讓歩をなしたものとごときその内容は左の通りと傳へられる。

一、獨政府は舊獨植民地を除く佛領土の主權を認める。他方伊西兩國は佛のフリカ植民地讓渡要求を放棄する。

一、占領地域における獨軍部隊の維持を一日當り四億フランより一億九千六百萬フランに減額する。

一、五十萬の佛軍捕虜の釋放。

一、占領、非占領地域間の境界開放。

一、食糧不足打開と工業生産回復のため原料、食糧品の交換。

一、休戦以來獨軍治下にあるノール縣およびバ・D・カレイ縣の佛への返還。

一、アルガス・ロレーンの國境を再調整し佛の東部諸州全部を喪失するを避けらる。

なほサイシー官邊側では佛がドイツと協力のため軍事的、領土的讓歩を行ふのは問題でないが陸海軍基地の供與乃至は

艦隊の讓渡は絶對になし得ないとしてゐる。

四月二十一日

蠶糸業統制法施行規則（農林省令第二〇四號）、玉糸座繰生糸製造業許可規則（農林省令第二一號）公布

ドイツ軍はラリツサよりさらに南方へ進撃ビンドス山脈を突破し、標高千五百メートルのメツオヴオ隘路を占領した。またドイツ空軍はヴオロス港で英輸送船一隻を撃沈、チャルキス港において英船二隻に重大損害を與へた。

四月二十二日

松岡外相は四月二十二日歸朝するや首相官邸からラヂオを通して日ソ中立條約は、日ソ國交に必ずや好影響を齎すと列國の巨頭大事を快速に處斷する。僅か半歳で平和の三條約（日獨伊條約、日支基本條約、日ソ中立條約）を締結した空前の變局に對する國民の覺悟につき國民に呼びかけた。

福州縣に於ける現在までに判明せる主要なる戦果左の通り。

「鹵獲品—警備船九隻、二十サンチ加農砲四門、十サンチ加農砲十門、七サンチ高射砲一門、各種銃砲、彈藥その他多數。」

福建方面における作戦軍は四月十九日未明同方面海軍部隊の緊密なる協力の下に風速二十メートルの烈風をつき激浪を冒して閩江下江南北の沿岸各所に一齊に奇襲上陸を敢行し、峽峻難路を突破し長門、金牌、電光山、閩安鎮の諸砲臺および馬尾の海軍根據地を攻略し、所在の敵を撃破して陸軍部隊は本二十一日福州に入城せり。

わが福建方面作戦軍の先遣隊は、二十日午後十一時三十分つひに福州東門に突入、深夜の城頭に日章旗を掲げ、主力部隊も續いて城内に殺到、二十一日午後完全に福州を占領した。福州およびその近郊の住民は極めて平靜で、皇軍の入城を歓迎、撤兵の姿は全く見られない。

四月二十三日

ガラ坊糸ノ引渡制限ニ關スル件（商工省令第三二號）、價格等統制令第七條ニ依ル風呂敷ノ販賣價格指定（商工省告示第三四七號）公布

ビルマ防衛に關して今回新に重慶とイギリス側との間に對日共同作戦の軍事的密約が成立したものと、如く、重慶軍約二千は、本月二十日ごろビルマ領内に移動を開始するとともに、ビルマ領内に重慶側の飛行機組立工場、武器軍需品倉庫などの配備を完了、さらに重慶軍の後續部隊はタイ國境方面に對して配備せられつつありといはれてゐる。重慶軍のビルマ進駐は英軍のビルマにおける増強、ならびに馬來半島における英本國、濠洲聯合軍の戦争態勢と相まつて泰國壓迫の態勢を猛烈に表示するものである。

今次神健作戦における綜合戦果は大體次の如くである。

の砲臺を奪取しあるひは電光附近の敵第七十五師二百二十三團を逐驅した吉田、柳、菅野、北村、永野諸部隊は二十八糎砲より野砲にいたるまでの各種砲約二十數門、水冷式機關銃および彈藥多數。

一、閩江南岸地區より長樂附近の敵を撃摧南臺に進出した小川、礮、松岡、中村、串戶等の諸部隊は小銃百十四、拳銃四十四、彈藥二萬發。

一、また南方沿岸長沙より福清に進撃した津川部隊は迫撃砲二十八、重機四、輕機七、小銃、自動小銃百、彈藥一萬數千。

一、勿克島に上陸、金牌砲臺を占領した多賀部隊は二十糎加農砲四、十糎加農砲十、七糎高角砲一。をそれらに鹵獲したほか各方面において敵軍需輸送用車輛多數を鹵獲した。また現在までに判明せる捕虜は約二百であるが敵の裝備は極度に悪く戰意全く喪失し最後ま

で頑強に抵抗したものは督戰怖ろしきにかむなく抗戦を續けたものであることが判明した。

二十三日までに判明した南臺入城各部隊の綜合戰果および津川部隊の戰果左の通り。■南臺入城部隊の交戦した敵兵力

一千、遺棄死體百五、捕虜二十二、小銃百十四、同彈藥五萬六千、迫撃砲一、機關銃彈一千、飛行機用機關銃彈四百、銃劍百九、手榴彈三百四十八、防毒面一。

津川部隊——遺棄死體百六十九、捕虜三十六(うち將校四)水冷式機關銃四、同彈藥四千五百、自動小銃百七十九、同彈藥二千八百、拳銃七、同彈藥四百九十、小銃十六、迫撃砲二十八、手榴彈二百三十、防毒面四十三、電話機一。その他なほこのほかに各隊とも援將物資多數を鹵獲目下調査中である。

サロニカよりの報道によれば獨伊軍とエビルス、マセドニア兩地區のギリシア軍の停戰協定は二十三日午後六時(ギリ

シア時間)效力を發生した。右協定はドイツ東南派遣軍司令官ジークムント・リスト元帥の總本部、サロニカを望む丘陵上のある別荘で調印された。

四月二十四日

農地開發法施行令(勅令第四九五號)、帝都高速度交通營團法施行期日(五、一)ノ件(勅令第四九六號)、帝都高速度交通營團法施行令(勅令第四九七號)公布

二十三日正午獨軍司令部は左のごとく一部ギリシア軍の降伏を發表した『ギリシア北部のマセドニアおよび北西部のエビルス兩地方において獨伊兩軍により包圍されたギリシア軍は、二十三日武器を捨て獨伊兩軍に無條件降伏せり』其兵數二十萬と稱せらる。

マセドニアエビルス地區のギリシア軍は二十三日降伏したが、殘餘のギリシア全軍もドイツ軍司令官リスト將軍に降伏を申出で目下兩軍の間に交渉が進捗中の模様である。かくてバルカン戦局も一團

日中にドイツ軍の完全な勝利の下に終結するものと見られる。

伊軍司令部は廿三日特別發表において左の降伏條件正文を明かにした。

一、伊アルバニア軍司令部および獨ギリシア派遣軍司令部は、エビルスおよびマセドニアの希軍の無條件降伏申入を受理せり。

一、エビルスおよびマセドニアの希望は捕虜とす。

一、希軍の示せる勇氣に免じ、希軍將校が軍刀および軍裝を保持するを許可す。

一、エビルスおよびマセドニアにおける全伊軍捕虜は、伊軍に對したとちに引渡さるべきものとす。

一、軍事行動終了後において希軍全捕虜の解放方につき考慮を約す。

一、武器は總て戦利品とす。

一、希軍は戦闘中止を實施すべし。

一、エビルス及びマセドニアを通じ或ひ

は右兩地より發する空路及び海路交通を一時停止す。

一、希軍は獨伊代表團と降伏條件の細目を議するため委員團を任命すべし。

一、伊希兩軍の戦闘中止は四月二十三日午後六時より實施するべきものとす。

一、降伏に關する協議會は二十三日サラニカにおいて開かるべきものとす。

ギリシア國王ゲオルギオス二世は次の如く聲明した。||「バヴロス皇儲および

政府はクレータ島に移ることゝなつたが、ギリシア政府は同島に據り戰爭をあぐまで完遂する覺悟である。なほ希軍が無斷で伊軍と休戦した所でギリシア全國民、余および政府の自由意思は毫も束縛せられるものではない」

四月二十五日

日ソ中立條約は二十四日の樞密院本會議で可決されたので政府は直ちに御諮詢案の御下渡しを乞ひ、持廻り閣議に付したのち上奏御裁可を仰ぎ御批准手續を完

了した。一方ソ聯も二十五日中に批准を完了することは打合せ済みなので、同條約は第三條の規定にもつき二十五日からその效力を發生、滿五ヶ年有效となるわけである。日ソ間はこの原則的には國交調整も軌道に乗り、従つて兩國間多年の懸案たる滿蒙國境確定委員會における現地國境確定、日ソ貿易通商協定、漁業本條約等の交渉も急速に進捗するものとみられる。

わが陸戰隊の精銳竹下部隊は二十三日早朝陸頭灣敵前上陸を敢行、同日午後早くも松門を占領。

二十四日ドイツ軍當局談によれば、ドイツ軍は最近三日間にギリシア近海で脱出英兵を輸送するための船舶合計八萬九千六百トンを撃沈し、その中二十三日のみの戦果は輸送船五隻計二萬一千六百トンであつた。

獨逸軍司令部發表左の如し。

一、獨軍部隊は二十五日テルモビレー峠

を占領し、さらに南下進撃を繼續中である。

一、獨空軍は同日ギリシア各地の飛行場を攻撃、地上の敵機四十三機を爆碎した。

一、獨空軍は英本土東南岸の某市を爆撃し軍事施設に猛烈な大火災を起させた。

一、英周邊の海上において約二萬トンの船舶一隻を撃沈した。

一、獨空軍はギリシア周邊の水域でも船舶多數に大損害を與へた。

日獨經濟提携の立役者（ルムート・ウォールタート氏（四年計畫部局長）を團長とするフォス（外務省通商局極東課長）フオン・スピツドラー（經濟省極東關係課長）ブツフハルト（經濟省極東關係課長）ネルソン 食糧省極東關係課長）ローゼンブルック（ライヒスバンク代表）六氏ならびに秘書二名からなる訪日滿經濟使節團一行八名は新京まで出迎へた外務省

小瀧領事に案内されて花曇りの二十五日朝關釜連絡船與安丸で來朝、内地陸の第一歩を下關に印した。

エキステニージ・テレグラム通信アソカラ電によれば、獨土兩國は棉花と醫療品の交換を規定した總額三百五十萬トルコ・ポンドにおよぶバーター協定に調印し、さらに煙草と機械の交換を規定する總額一千萬トルコ・ポンドのバーター協定締結に關する交渉が行はれてゐる模様であるといはれる。

四月二十六日

農地開發法施行規則（農林省令第二七號）公布

中支艦隊報道部發表 浙江、福建方面の海陸協同作戰が着々として成果を収めて進展するとともに前週初頭中支における海軍航空部隊のこれに對する提携協同の攻撃は實に目覺しく、連日大編隊をもつて浙贛線の要衝ならびに第三戰區重要據點數十ヶ所を連續猛撃、敵の軍事施設、

兵營、兵站倉庫、停車場等を潰滅せしき交通、通信の連絡を遮斷して混亂に陥れる等敵に致命的な打撃を與へたり、さらに週末には鵬翼を中原に伸ばし安慶周邊の廬江、桐城、秋浦、石門街および湖南の樞要地點衡陽、常德、藕池口を爆撃、なかんづく長沙に對しては三次にわたりその中心部を粉碎、その一午を廢墟と化せしめ、他方江上艦艇は敵の呼號する春季反抗を完遂すべく長江七百哩全江岸にわたつて嚴重なる警備任務を遂行、特に石頭口、王家堡、鄧家口、觀音樓、張家州等においては敵匪を掃蕩驅逐して治安の肅清に大なる戦果を収めた。

去る二十日わが軍が占領した福清の北方および南方の皇軍占領地域附近に敵第七十五師、第四百四十四團の各一個連内外のものが二十四日夜午頃徘徊してゐるのを察知したわが津川部隊は、二十五日未明を期して一齊に奇襲を敢行した。敵はまつたく虚を衝かれて大狼狽を極め、

るところに白兵戦を展開し、そのほとんども全部を滅滅した。この戦における戦果は敵遺棄死體六十八、捕虜五十九、小銃七十三、輕機九、拳銃七十二、迫撃砲彈四十八、手榴彈百五十、小銃彈千七百、機關銃彈九千、その他銃劍、防毒面等多數に上つてゐるが、わが方の損害は戦死一、負傷二のみであつて、まったく奇襲が效を奏したものである。

福州を攻略したわが〇〇部隊の二十五日正午現在までの綜合戦果は左のとほりである。敵の編成およびその兵力は第七十五師の二百二十三旅、二百二十五旅、第八十師の二百三十八旅、二百三十九旅および雜軍をあはせて八千八百、敵遺棄死體九百、捕虜八百六、鹵獲品要塞砲二十サンチ四門、十二サンチ二門、七サンチ二門、十五サンチ三門、合計十一門、重機二十五、チェツコ機銃六十六、小銃八百三十六、拳銃二十二、銃劍百七十八、迫撃砲彈三百六十、手榴彈六百七、チ

エツコ機銃彈二萬發、小銃彈三十萬發、爆藥約八十函（一函百梱）その他自動車銃、自動車、電話器、青龍刀、槍、鐵棒等多數。なほ引續き戦果擴大中であつたわが方の損害は戦死將校五、下士官兵十五、負傷將校六、下士官兵五十、戦死馬一。

四月二十七日

獨軍最高司令部特別發表左の通「獨裝甲師團は英軍を撃破追撃し、二十七日午前九時二十五分（日本時間午後四時二十五分）遂にアテネに入城、アクロポリスの丘上高くハーケンクロイツ旗を翻へせり」

アテネを目ざして追撃中の獨軍は廿七日午前九時午の先遣裝甲部隊入城に引續き、續々アテネに入城を行ひつゝある。なほ入城に先立ち、廿六日夜聯合軍殿軍と激戦を交へつゝこれを撃退したものである。

四月二十八日

大日本帝國及「ソヴェエト」社會主義共

和國聯邦間中立條約（條約第六號）公布
陸軍中將正四位 岡 村 寧 次
勳一等 功三級
陸軍中將正四位 勳一等 功四級 土肥 原 賢 二
任陸軍大將（各通）

今回ガズ防護に關する教育の統轄機關として教育總監部内に化兵監部を設けられることとなり、左のごとく發令される

補化兵監 陸軍中將 町 尻 量 基

四月二十九日

天長の佳節に際し聖壽の無窮を壽ぎ奉る天長節觀兵式は、二十九日畏くも大元帥陛下の親臨を仰ぎ奉り、雨もよひの空に、しつとりと潤ふ代々木練兵場で舉行された。

餘喘の昆明を一舉に覆滅すべく陸軍第三次昆明猛攻で臨時移轉中の省政府をはじめ大半を灰燼に歸した。時恰も昆明へ重慶から多數の要人が乗り込んで省主席龍美はじめ市委員側と昆明復舊の善後處置を對策協議中といはれ、この日わが荒鷲の撃爆ぶりを目撃して周章狼狽を極め

たものと思はれる。

ドイツが拿捕したイギリス船舶は開戦以來八百七十隻に達してゐる。その積荷は金、食料品、石油、セルロイズ、材木、茶で金額に見積つて約一億マークに上り、それだけドイツ經濟のプラスとなつたと當局から發表された。

チャールズ・リンバーグ大佐は二十八日米國空軍の豫備航空大佐を辭する旨の書翰をルーズヴェルト大統領に送つた。

濠洲代理首相ファツデン氏は十九日朝濠洲軍のギリシア撤退につき左の如く發表した。「わが軍のギリシア撤退は進行中である。わが軍は敵の猛烈なる壓迫の下で果敢に戦ひつゝある。わが軍の多數は敵の前進に頑強に抵抗したるのちギリシアを撤退した。たゞし戦死傷を出すことを避け得なかつた。詳細は判明次第發表する」

四月三十日

皇后陛下には靖國神社例大祭第二日の

三十日、九段の同神社に行啓、今回の臨時大祭に合祀された一萬四千九百七十六柱の新祭神をはじめ護國の英靈に親しく御直拜あらせられた。

英政府當局は三十日英國ギリシア派遣軍六萬中少くとの四萬五千は既に成功裡にギリシアより撤退した旨發表した。

イタリア軍司令部發表次の如し。

一、獨伊空軍部隊は地中海中部において英艦隊を爆撃した。また獨空軍はマルタを空襲、テヴァレツタ港の敵商船を猛爆多大の戦果を収めた。

一、北阿戦線では、空軍協力下に獨伊兩軍はトブルクの猛攻を敢行、トブルクの港灣施設ならびに防禦陣地を痛烈に爆撃し、碇泊中の英輸送船一隻を撃沈した。さらに獨伊兩軍部隊はソルム周邊の英軍を猛攻英軍は各所で退却中である。

五月一日

バルカンの敗戦を契機として英内閣の

改造は必死とみられてゐたが、チャーチル首相は一日閣僚の更迭を發表、ビーヴァーブルック飛行機製作相を無任所相に任命、副首相として事實上の經濟獨裁權を附與するとともに船舶、運輸の兩省を合併して一省とした。更迭せる閣僚の顔觸は左のごとくである。(括弧内は舊職)

無任所相ビーヴァーブルック(飛行機製作相)▽飛行機製作相ジョン・ムーア。ブラバゾン中佐(運輸相)▽船舶運輸相フレデリック・J・レザース(英船舶業者)▽濠洲高等辨務官ロナルド・クロス(海運相)▽船舶運輸省次官J・J・レヴェリン大佐(飛行機製作省次官)▽飛行機製作省次官フレッド・モンターギユ(運輸省次官)

英近東軍司令部一日發表に依れば「獨伊軍は英軍占據中のトブルクの外廓陣地を一日朝突破、目下英軍との間に激戦中なり、獨伊軍は三十日夜トブルク攻撃を開始、歩兵部隊をもつて英軍前哨陣地に

突撃し來つたものである。

ベルリン發AP電によれば、獨軍司令部はトブルク地區における勝利を發表し、獨空軍は英軍部隊および砲兵陣地に對し猛爆を開始した旨發表した。

五月二日

重要機械製造事業法（法律第八六號）公布

官界新體制の確立に關し特に經濟新體制に對應して官廳機構の運用を調整するため、政府は民間經濟界第一線に活躍する有能達識者の意見をも徵すべく内閣四長官の手許において人選その他具體案の作成を急いでゐるが、一日の四長官會議において成案を得、來る十日午後一時より首相官邸において官邸懇談會を開催するに決定、即日左記十六氏に對し内閣四長官を代表して富田内閣書記官長より招待狀を發した。なほ懇談會の運営を圓滑ならしめるため各方面より解決を要望されてゐる。一、民間の知識經驗の活用

時局日誌

一、事務處理方式の改善（一）事務組織の船率化一、行政事務の民間團體等への委付一、行政各部間の連絡協調の緊密化一、許可認可事項の整理。の諸項目を招待狀に附記し參考に資することとした。右官民懇談會には近衛首相、小倉國務相および經濟關係閣僚も出席して意見の交換をなす筈である。招待されたる諸氏左の如し。

日本鐵業社長伊藤文吉▽第一生命社長石坂泰三▽三井物産代表取締役石田禮助▽東電副社長岡部榮一▽東横電鐵社長五島慶太▽三菱重工業社長郷古潔▽北海道炭礦汽船會長島田勝之助▽東京海上火災社長鈴木祥枝▽東洋紡績會社長關桂三▽王子製紙社長高島菊次郎▽住友本社參事津田秀構▽日銀副總裁津島壽一▽日本郵船副社長寺井久信▽旭石油社長崎英造▽日本棉花社長南郷三郎▽大日本製糖社長藤山愛一郎。

其筋への情報によれば、イラク首相が

イラニ將軍は一日夜さらに國民に對し次のごとき布告を發し、國民の對英開戰決意を促した。一開戰の日は近づいた。吾人は戰爭を欲したのではないが、祖國の名譽は各個人の運命に關する。國民はそれ／＼の武器をとつて起て、イラク國民は傲慢なる英國の強壓に屈するものではない。われ／＼が今戰はんとする戦ひは祖國の名譽のための聖戰である。

總務部長會議第二日、全國總務部長會議第二日は二日午前九時から内務省會議室で大藏省所管事項に關して開催、大藏省から栗原國民貯蓄獎勵局長、多田同總務課長等出席、まづ貯蓄獎勵局長から公債消化狀況を説明し貯蓄獎勵運動強化に對する地方の協力を求める旨の挨拶があり、貯蓄組合法の實施、國債の消化促進貯蓄獎勵運動の強化等に關する協議事項を中心に種々意見を交換、質疑應答を行つた。次いで商工省に移り、重要金屬類特別回收に關する件につき指示を行

九一

ひ終つて日本赤十字社及び愛國婦人會代表よりそれぞれ挨拶があつて一旦休憩、午後一時より内相官邸における大政翼賛會關係の協議に入り、支部豫算割當、推進員の整備、支部規程、運動規約等改組後の諸問題につき意見を交換同午後三時二日間に互る日程を終了した。

二日イラク軍は相當の兵力をもつてバグダッド西方六十マイルのハベニアにあるイギリス空軍基地に集結、イギリス政府はイラク政府に對してイラク軍の撤退方を要求したが失敗に歸し二日正午すぎ遂にイギリス、イラク兩軍は衝突しイラク軍の砲火に應酬してイギリス軍も應戦し戦火は二日終日繼續し、なほ擴大しつゝあるものと信ぜられる。

五月三日

絹糸布屑、人造絹糸布屑、ステープルフアイバー糸布屑及麻糸布屑等ノ購入及販賣價格決定(商工省告示第三七九號)、綿綱、綿綱引、畜産用手綱、畜産用頭絡及

綿糸パツキングノ販賣價格決定(商工省告示第三八二號)公布

豊田商工大臣は閣議で物資の出荷統制強化の各配船との齟齬解消への協力を要請した。

東京横濱兩港を統合する開港の名稱は大藏、逓信、内務三省で協議して決定することとなつたが、大體京濱港とすることに内定した模様で、六日の閣議で勅令改正とともに正式決定をみるることとなつた。

三日の來電によればイギリス、イラク開戦は早くもイラク各地に擴大し全イラク國民の對英抗争は全回教國家の對英抗争にまで發展する可能性が見られるに至つた。ハベニア飛行場における兩軍の衝突は目下イラク軍に有利に進展し二日終日激戦が繼續されたがその戦圍においてイラク空軍は三十トンの爆弾を投下し合計二十六機のイギリス軍用機を破壊し、この戦端開始と同時にイギリス機械化部

隊は西部イラク國境の軍事上の要衝たるラトベ市ならびに同市郊外飛行場に進入、同市を占領せんと試みたがイラク軍の頑強な抵抗によつて失敗しイギリス軍は戦車を遺棄して退却した。

五月四日

四日午後六時(日本時間五日午前一時)クロール・オペラに召集された。ドイツ國會においてヒ總統は一時間十分にわたる大演説を行ひバルカン作戦の戦果を報告、將來の決意を披瀝したが總統は右演説において、チャーチル・イギリス首相は戦争繼續の決意をくりかへし確言してゐるやうであるがわれわれもまた必要とあればイギリスの一箇の爆弾に對して百箇の爆弾をもつて報復する決意ありと述べ、さらにアメリカの對英援助に對しては、民主々義勇勳者がドイツよりならぬの危害を加へないにかゝはらず武力又は資本力を利用し、或ひは物資をもつてドイツを脅威するならばわれは歐洲

新秩序建設の目的遂のため敢然これを排除するであらう。アメリカは現在のドイツが一九一八年の敗戦をくりかへすべくあまりにも強力である事實を知らないと警告し、尙今後の對英決定戰遂行にあたりドイツの武力強化のために銃後國民の勞働力、殊に婦人の力に期待する』旨を述べた。

五月五日

鐵屑配給統制規則中改正（商工省令第三四號）公布

五月六日

國防保安法施行期日「五月十日」ノ件（勅令第五四一號）、國防保安法施行令（勅令第五四二號）、地方分與稅施行規則中改正（內務大藏省令第二號）、主要食糧農産物改正増殖獎勵規則中改正（農林省令第三三號）、外地電話通話規則中改正（逓信省令第四九號）公布

天皇、皇后兩陛下には照宮成子内親王殿下の御配偶につき、かねてより御配慮

あらせられると承るが、このほど東久迥大將宮殿下第一王子盛厚王殿下を將來の御配偶に御内定あらせられたる趣に洩れ承る。

物價對策審議會の改組については最近從來の物價政策に對する再檢討の聲が官民各方面から擧げられてゐる關係等もあつて、企畫院を中心に關係各省の間でこれが改組に對する研究を進めて來たが、このほど大體成案を得た。改組の骨子は、一、從來の委員中には國務大臣も參加してゐたが、改組物審の委員は専ら民間のみをもつてする。

一、物審の審議問題を物價問題に限定する。
の二點と、これが運用に關する心構へとに過ぎないものであるが、當局としては今後この改組物審をもつとも有効に活用することによつて、物價問題を中心とする經濟諸問題に關して官民協力による萬全の態勢を築き上げようと相當の期待

をかけてゐるやうであると傳へらる。

帝國政府の調停による泰、佛印國境紛争調整はさる三月十一日帝國政府調停案に日、佛、泰全權間に署名を了しその後引續きわが調停委員松宮大使、事務總長齋藤南洋局長らを中心に佛、泰全權團の間で細目の折衝をついけ、同時にその條約化をいそいで來たが、今般全面的合意成立し泰國政府について八日午前フランス政府からも正式回答があつたので九日午前十時から首相官邸で正式調印式を行ふことになつた。すなはち國境畫定に關する（一）佛國、泰間の平和條約案について佛、泰兩國全權がまづ署名調印し、次で（二）國境畫定委員會の構成および運用に關する議定書については日、佛、泰三國全權がそれ／＼署名調印（三）保障および政治的諒解に關する日本國、佛國間および日本國、泰國間議定書（泰、佛印双方とも日本に對し直接、間接に對抗するがごとき政治上、經濟上または軍事上の

協定または諒解を第三國と締結せざるも
の)に個別的に日佛および日泰全權が署名
調印する。以上條約ならびに議定書は
二ヶ月以内に批准手續を完了し發效す
る。なほ現地における國境畫定は日、佛、
泰三國混合委員會の手によるわけである
が、一ヶ年以内に正式確定を見るはずで
ある。

右につき情報局は左の通發表す。

「日佛印間の經濟關係を新たなる基礎の
上に樹立することを目的として、客年十
二月以來東京において開催せられた日佛
印經濟會商は、友好裡に相互理解の精神
をもつて連日會談を重ね來つた。本會商
は、その交渉事項が廣汎かつ多岐にわた
つてをつたが、松宮大使とルネ・ロバン
總督とをそれ、首班とする兩國代表部
は、熱心なる討議の結果、今般各種問題
について完全に意見一致し、本日日本側
よりは松岡大臣および松宮大使、佛國側
よりはアンリ大使およびロバン總督によ

り、居住航海條約および關稅、貿易、支
拂協定の調印を見るに至つたのである。

右條約協定は、今後日佛印間の經濟關係
を密接ならしむる上に、多大に寄與する
ものであり、かくして東亞における日佛
兩國の協力の新たな段階が開かれるに至つ
たことは同慶の至りである。」

わが陸の荒鷲遠藤部隊では遠藤部隊長
總指揮の下に愛京、森玉各部隊長ら一齊
に六日午前〇時〇〇基地を出發、銀翼を
連らねて折柄の快晴に恵まれ一路鄭州上
空に向ひ、鄭州驛に待機中の敵車輛部隊
をはじめ、倉庫群附近に蠢動する敵數百
名に對し直撃彈を命中せしめ多大の戦果
を收め、全機悠々歸還した。

陸の荒鷲瀨戸、希代、森各精銳部隊は
六日午前銀翼を連ねて陝西省に進攻、咸
陽、西安を急襲、敵重要軍事施設に的確
なる爆撃を加へこれを粉碎、大戦果を收
めて全機悠々歸還した。

二田原、西、南等の各陸鷲部隊は、六

日早朝鷲翼を連らねて東部陝西省の同
州、澄城を急襲、敵密集大兵團に巨彈を
集中大、損害を與へて全機歸還した。

五月七日

醫藥品及衛生材料生産配給統制規則(厚
生省令第一五號)公布

皇后陛下には、七日午前舉行された日
本赤十字社、第四十九回通常總會に啓
遊ばされ左の令旨を賜はつた。

令 旨

茲に日本赤十字社第四十九回總會に臨
み各員に告ぐ。

總裁以下不斷の努力により本社の施設
は益々整備し基礎は愈々鞏固を加ふる
に至れり。

尙今次事變に際しては各般の戦時救護
に盡し本社の使命達成に努めつゝある
は満足に思ふ所なり。

諸員宜しく時局に思を致し益々國家社
會に貢獻せむことを望む。

次で明治神宮外苑競技場の愛婦總會々

場に行啓遊ばされ便殿にて特に水野會長
(水野道路改良會長夫人久満子)に拜謁
仰付けられ會場に臨御左の令旨を賜はつ
た。

令 旨

茲に愛國婦人會第四十回總會に臨み諸
賢に告ぐ。

今や内外の情勢益々多事にして婦人の
協力に俟つべきもの愈々多きを加ふ。
諸賢宜しく時局に思を致し婦人報國の
誠を盡さむことを望む。

住宅營團の幹部級の人選については豫
て營團首脳部で銓衡中のところ七日左
ごとく決定した。

千葉縣知事 立 田 清 辰
東京支所長(理事)

北海道廳總務部長 後 藤 耕 造
大阪支所長(理事)

長崎縣總務部長 白 戸 午 次 郎
仙臺支所長(參事)

長野縣總務部長 水 谷 秀 雄

時 局 日 誌

名古屋支所長(參事)

鳥根縣總務部長 迫 靜 吾

福岡支所長(參事)

パリにおけるダラン佛外相とドイツ
側代表者との間に折衝中だつた獨佛停戰

協定の改訂交渉は、七日左のごとく兩者
の間に意見の一致を見、獨佛新協定とし
てヴェシーにおいて發表された。協定内
容は次の三箇條より成る。

一、フランス内の軍事境界線を商品物資
および通貨の交流のために撤廢す(す
なはち物資の交流、貨幣の流通の點に
おいて、從來の占領地帯、非占領地帯
の區別は撤廢される)

二、近親の病氣または親類縁者の死亡の
際には、一般民衆に軍事境界線通過證
を發行する。また從來、特殊葉書のみ
認められてゐた占領、非占領地帯間の
郵便通信を普通葉書にまで緩和する。
三、フランス政府が獨軍に支辨すべき占
領費を引下げる交渉を今後も繼續すべ

きことに同意す。第一回の引下げとし
て差當り從來の一日二千萬マルクを千
五百萬マルク、すなはち四億フランを
三億フランに引下げることを。

五月八日

鈴木企畫院總裁は各種重要國策の綜合
的運営といふ見地から全面的行政機構の
改革に結附けた企畫院の改組擴充を企圖
し總裁就任當初から關係各方面と忌憚な
き意見の交換を行つて來たが全面的行政
機構の改革は官界新體制の問題とも關聯
してなかく、早急の實現は望まれない實
情にもあるので一應差當つて企畫院のみ
の擴充強化案を取上げてこれを實行する
こととなり大體成案を得て近衛首相の諒
解も得たので一日附をもつて企畫院事務
分掌規程の改正を行つた。従がつて今回
の改組は企畫院内部のみの改組に止まつ
て關係經濟官廳との連絡方法その他のよ
り高度の重要な諸問題にはふれてゐな
いがこの改組の眼目は現行官制内におい

て、またなるべく現在の人的要素の上

に立つて企画院の使命である國策の企畫

性と統一性を最高限度に發揮し得るや

うな仕組を狙つたもので、事務分掌規程

はほとんど全面的に改正されてゐる。改

正の要目は次の通りである。總務室を新

設し、恒久戦時事務集中、生擴物動を分

離し再編成事務の統合、科學事務の強化

交通動員事務の刷新、責任系統の明確化

現職員の活用等である。

今次中原會戰の劈頭、多田北支最高指

揮官は麾下の全將兵に對し「矢は弦を放

る。敵は小敵なるも油斷は大敵なり、將

兵の奮闘を祈る」と激勵の電報を發した

が、我が將兵の意氣は天に沖し、疾風迅

雷的な進撃をつとけてゐる。

五月九日

辯護士指定規程（國防法並治安維持法辯

係）（司法省令第四七號）、國民學校令施

行規則第百四條第一號ノ學校各養成所ノ

指定ニ關スル規則（文部省令第五六號）、

造林獎勵規則中改正（農林省令第三四號）

公布

立田千葉縣知事、後藤北海道、白戸長

崎、水谷長野、追島根各總務部長の住宅

營團入りならびに中村德島縣知事の宮内

省警衛局長榮轉と共に地方部長級の更迭

左の通り。

神奈川縣警察部長 辻 山 治 平

任德島縣知事

兵庫縣經濟部長 武 藤 隆 一

任北海道廳總務部長

長崎縣警察部長 久 安 博 忠

任和歌山縣總務部長

福島縣學務部長 上 塚 弘

任熊本縣經濟部長

熊本縣地方事務官 武 下 一 郎

任滋賀縣學務部長

東京府地方事務官 神 内 德 治

任福島縣學務部長

兵庫縣地方事務官 田 上 辰 雄

任德島縣經濟部長

長崎縣地方事務官 淺（野）三 郎

任宮崎縣經濟部長

北海道廳總務部長 後 藤 耕 造

長崎縣總務部長 白 戸 半 次 郎

長野縣總務部長 水 谷 秀 雄

島根縣總務部長 追 靜 吾

依願免本官（各通）

德島縣知事 中 村 四 郎

任宮内省警衛局長

德島縣經濟部長 右 田 鐵 四 郎

任企畫院書記官

關東局事務官 坂 本 宗 武

任石川縣警察部長

長崎縣警察部長 久 安 博 忠

任神奈川縣警察部長

宮城縣學務部長 松 浦 榮

任長崎縣警察部長

滋賀縣學務部長 多 田 雄 次 郎

任宮城縣學務部長

厚生省體局體育課長 友 末 洋 治

任兵庫縣經濟部長

和歌山縣總務部長 岡田 包 義

任長崎縣總務部長

石川縣警察部長 安 田 穰

任和歌山縣總務部長

厚生省職業局總務課長 引 田 重 夫

任長野縣總務部長

熊本縣經濟部長 白 石 喜 太 郎

任島根縣總務部長

晉南中央軍二十餘萬の殲滅を期し七日薄暮から折柄の黃塵を衝を衝いて怒濤の進撃を開始したわが精銳はわづか二十四

時間にして七十キロの峻險天を靡する山嶽地帯の敵縱深陣地を突破、有富部隊は

八日午後七時二十分垣曲を突破、奥部隊も同時刻白狼渡を占領したのをはじめ黃

河渡河點をことごとく占領し、横垣街道横嶺關、垣曲北西地區において直徑七十

キロの包圍陣を完成、敵孔令恂の第八十軍、高桂滋の第十七軍、唐淮源の第三軍

十二萬の敵を文字通り一兵も残さず袋の鼠とし、わが軍は九日朝までに蟻山、唐

王山など晉南山岳地帯の各要衝を奪取、わが包圍陣は蟻の這出る隙もなく精密無比の大殲滅戦が展開されてゐる。

九日の佛、泰平和條約調印式は次の如き順序で行はれた。午前十時日、佛、泰三國全權は首相官邸階下大ホールに參集。

日本側 調停委員松岡外相、松宮大使、事務總長齋藤南洋局長、隨員松本條約局長等。

佛國側 全權アンリ駐日大使、ロバン名譽總督、事務總長ゴーチエ佛印總督官房長。

泰國側 全權ワンワイ殿下、ピヤ・シ・セナ駐日公使、サストラコン國軍參謀總長、ワニット商務局長、事務總長タウエチクン外務書記官等。

參集まづ條約、議定書に署名調印後松岡調停委員から祝辭をのべ、これに答へてアンリ佛、ワンワイ泰兩首席全權から答辭をのべ、いづれも日、佛、泰三ヶ國

語に通譯する。終つて調停委員を中心に全權隨員一同乾杯し今次調停會議を終了した。

泰、佛領印度支那國境紛争關係につき左の如く情報局は發表し泰・佛領印度支那國境紛争解決を目的とする調停條項は、去る三月十一日關係三國間に署名を了し、爾來二ヶ月に互り右調停條項の條約成文化のため佛・泰兩國代表者間に討議が繼續され、調停委員たる帝國代表者またこの間斡旋の勞を執りたる結果、つひに關係國間に完全なる合意成立し、本日九日フランス國および「タイ」國間平和條約の正式調印を完了した。

帝國政府が泰・佛領印度支那國境紛争解決のため、調停會議を東京に招請して以來三ヶ月餘の短期間内において、所期の目的が完全に達成せられたことは、帝國政府が終始一貫、東亞諸國の善隣友好關係樹立とこれ等諸民族の共存榮榮の理想實現のため、誠意を盡して努力した

結果なることはもちろん、紛争當事者たる佛・泰兩國政府がおの／＼我國の意の有る所を十分に認識し、眞摯問題の圓滿解決のため交渉に當られたその成果である。かくて東南アジアの平和と秩序とが

新なる基礎の上に確保せらるることとなつたことは、東亞新秩序建設途上さらに

一新紀元を開くものであつて、兩當事國政府とともに帝國政府の頗る欣快とするところである。特に本條約成立と同時に、さきにわが國と佛「タイ」間に取交

された往復文書が、正式文書として署名調印せられ、こゝに日泰および日佛印間にそれぞれ善隣友好關係の樹立、經濟緊密關係の増進ならびに政治、經濟、軍事

に關する了解の完全成立を見たことは、實に意義深き會議の成果であつて、關係國間の緊密關係はこれによつて益々強化せらるべきことを確信する。

米國の參戰如何と關聯して歐洲戦局の發展は極度の緊張をもつて注目されてゐるが、パリ駐在のフランス大使、プリノン氏は九日米國人記者に對し「もし米國が參戰する場合は、フランス艦隊は樞軸側に參加して戦ふであらう」と重要談話を發表した。

五月十一日

改組された物價對策審議會の委員は企畫院を中心に人選中のところ、このほど大體人選を終つたので一兩日中に改正官制の公布と同時に正式發令を見ることがなつた。委員の顔ぶれは、次の通り

貴族院代表五名、衆議員代表五名、鑛工業關係五名、商業貿易關係三名、金融關係四名、農林水産關係三名その他五名計三十名である。

なほ改組前の物審における民間委員は十二名であつたが、その内から改組物審の委員に再任された人は、左の通り

井坂孝、下村宏、大口喜六、平生飢三郎、賀屋興宣、結城豊太郎の六氏である。これで改組物審に對する萬端の準備が

成つたので、政府では改組官制の公布後なるべく早く委員の初顔合せを兼ねて第一回會合を開く豫定である。

△會長 近衛文麿
△副會長 小倉正恒
△委員 鈴木貞一

【貴族院關係】 貴族院議員 大河内正敏
同 矢吹省三
同 下村宏
同 後藤文夫
同 伍堂卓雄

【衆議院關係】 衆議院議員 中島彌圓次
同 砂田重政
同 松村謙三
同 東郷實
同 大口喜六

【鑛工業關係】 鐵鋼統制會長 平生飢三郎

金屬鑛業聯合會々々長 伊藤 文吉
石炭鑛業聯合會々々長 松本健次郎

日本發送電總裁 池尾 芳藏
紡績聯合會々々長 津田 信吾

【商業貿易關係】

日商會頭 藤山 愛一郎
日本海運優會々々長 大谷 登

【金融關係】

日銀總裁 結城 豐太郎
東京手形交換所理事長 明石 照男

大阪手形交換所委員長 中根 貞彦
信託協會々々長 山室 宗文

【農林水産關係】

中央農業協力會々々長 酒井 忠正
産組中央會々々頭 千石 興太郎

【その他】

帝國水産會々々長 野村 益三
滿洲重工業總裁 鮎川 義介
北支振興總裁 賀屋 興宣
中支振興總裁 兒玉 謙次

五月十二日

工業俱樂部理事長 井坂 孝
物價統制協力 八田 嘉明
會議 副會長
自動車修理用部分品配給統制規則(商工省令第四一號)公布
佛印派遣飛行隊の精銳は鵬翼を連らねて連日雲南奥地に進攻し、ビルマルト

五月十三日

今十三日の支那戰況左の如し。
中原。狂口渡をはじめ黄河各渡河點を占據したわが軍は、鋒を轉じて背後の晋南山嶽地帯に據る敵に一齊猛攻を加へ、陸驚もこれに呼應した。なほ重慶來電によれば、今次山西南部の敗戦により、閩錫山は蔣介石宛軍職の辭任を要請したと傳へられる。

遮斷に努めてをつたが、本十二日またまた堂々たる大編隊軍をもつて昆明を急襲し、市街西北部一帯にわたり敵が建設せる兵營、軍需工場および倉庫等に巨彈の雨を浴びせ、前日の攻撃と相俟ち昆明を死の街と化せしめた大戦果を収めて、全機悠々歸還せり、該地にありたる敵機は戰意全くなくわが飛行隊到着に先立ちいちはやく霽益方面に逃走せり。

十二日午後八時ベルリンのナチス黨本部はルドルフ・ヘス黨副總理が過日來行方不明となりたる旨ラジオをもつて發表したが、右發表によればルドルフ・ヘス副總理はかねてより精神に異狀を呈し、

周圍から警戒されてゐたが、去る十日から飛行機を擔縦してアウグスブルグ(ミューンヘン西方五十キロ)を飛立つたまゝ行方不明となり、おそらく精神錯亂の犠牲になつたものと推斷される。

る。一方浙東諸暨の奪回を呼號して逆襲の態勢にあつた敵もわが軍の機先を制する猛攻に遭ひ、撃退された。

南支。惠州に突入した各部隊は附近の敵を完全に包圍、陸鷲の協力の下完全にこれを袋の鼠とした。

尙北中南支を通じ、今次作戰における特徴は敵の捕虜、投降者が頗る多いことで、蔣軍が全般的に戰意を喪失しつゝ、あることを裏書きしてゐる。

五月十四日

豫防拘禁手續令(司法省令第四九號)、鑛業法施行細則中改正(商工省令第四二號)砂鑛法施行細則中改正(商工省令第四三號)、開港港則施行規則中改正(京濱港ニ關スル)(逓信省令第五一號)、和傘ノ販賣價格指定(商工省告示第四二九號)、家庭用金物(バケツ、釣瓶、小桶杓及肥料)ノ販賣價格指定(商工省告示第四三一號)ノ販賣價格指定(商工省告示第四三一號)中等學校生徒ノ制服ノ販賣價格指定(商工省告示第四三三號)、自動車用蓄電

池、自動三輪車及二輪車用蓄電池ノ販賣價格指定(商工省告示第四三二號)、學生男女幼兒洋服販賣價格指定、「一六年三月商工省告示第二〇〇號中改正(商工省告示第四三三號)公布

晋南峻嶺大包围圈内隨所に猛烈な殲滅戰を展開しつゝあるわが精銳の攻撃は愈急を極め大なる戦果を収めてゐる。

一、十三日までの中條山脈中央軍包围殲滅戰における綜合戦果は捕虜約七百、(内將校三十五)敵屍千八百、迫撃砲

二、重機二、輕機九、小銃三百五十、小銃彈五萬、手榴彈千八百、その他多數。

一、十一、十二兩日四交河河峪方面で敵遺棄死體千二十一、捕虜三百七十、鹵獲品山砲三、迫撃砲六、機銃三十二、小銃六百十、彈藥四十箱、手榴彈一千の戦果をあげた。

一、十一日から十三日までに敵屍七百四十、捕虜五百三、鹵獲砲八、機銃三十、

小銃四百十八、彈藥無數といふ甚大な戦果を収めた。

一、十三日縣山南側高地にある敵二千を猛攻、遺棄死體七百、捕虜二百三十、鹵獲品山砲二、迫撃砲十一その他多數の戦果を収めた。

一、十三日夏縣東方二十キロの一七八七高地附近において第三十四師の敗敵を覆滅、遺棄死體四百十五、捕虜百十七、鹵獲品小銃百四十一、彈藥六萬の戦果をえた。

一、十二日垣曲西方二十キロ附近で敵の約二千を撃滅、遺棄死體五百二十、捕虜六百六十、鹵獲品迫撃砲七、小銃三百十二、彈藥十萬その他多數のほる大戦果を収めその一部は畔王溝にて敵屍八十九、捕虜九十三の戦果をあげた。ドイツ政府は十三日夜紅海で戰鬪行動開始につき同方面を作戰區域に指定せる旨を宣言、同水域の航行船舶に警告を發したが、宣言の全文は次の如くである。

「東地中海の戦鬪の發展により將來において紅海もまたドイツ軍の作戦地域となる可能性あり、この地域を航行する各船舶は機雷その他の軍事的危険に晒さるべきをもつて、ドイツ政府はこの地域内の船舶に警告を發す、すなはち作戦海面はスエズ灣、アカバ灣を含む北部紅海の全海面すなはち北回歸線（スエズ運河より四百五十マイルの距離に當る）以北の紅海水面但しサウジ・アラビアの領海は除く、なほ一定の標識を附せる回教徒の巡禮船に對しては例外の規定を留保するものなり」

ヘス氏はグラスゴー病院に收容された直後ハミルトン公と會見したことが判明した。但しその際の會談内容は極秘に附されてゐる。

五月十五日

日本發送電 株式会社法施行規則中改正（遞信省令第五二號）公布

皇后陛下には伊勢神宮をはじめ各山陵

に御參拜、輝く紀元二千六百年の佳き年

をめたく送らしめられたる畏き神慮を

思召され、あはせて未曾有の時艱克服を

祈念し給ふため、十五日宮城御發興、薰

風爽かな神都行啓への御途に就かせられ

明るい五月晴れ、翻る日の丸、若葉の山

々、京都市民赤誠こめての奉迎裡に午後

五時三十分京都驛に着御あらせられた。

國民政府の育成強化策に付て現地側陸

海外關係機關の總意をもたらしめて十四日

入京した駐支大使本多熊太郎氏は十五日

午後三時から、まづ松岡外相と外相官邸

で會見した。會談は同五時すぎまで約二

時間に互つたが、當日は主として本多大

使から現地側の意向を詳細に説明した。

電撃作戦見事に効を奏して敵十二萬を

完全に囊中の鼠とし、これを徹底的に殲

滅中の晋南戰線では、第三軍長唐淮源は

じめ敵軍幹部の大半は戦死あるひは捕虜

といふ有様で指揮系統に亂脈となり、部

隊を下士官が指揮を執りながら敗走する

など敵々の體である。

十三日朝來、蔣介石の郷土溪口鎮の前

面に雲集する敵第九十四師に對し徹底

的打撃を與へるべく行動を開始して以

來、峨々たる峻險に苦難の戦鬪をつゞ

け、十四日夕刻つひに要衝岩頭市（溪口

鎮西南方十二キロ）を占領、さらに十五

日敵司令部の所在地上蹕駐の線にまで進

出、この方面の敵を完全に制壓した。判

明せる戦果は敵遺棄死體三百五十二、捕

虜將校一、兵六、鹵獲兵器重機二、小銃

三十三、その他多數。

東京港の整備問題は明治二十九年の頃即ち今より約半世紀の前當時の大政客東京市會議員星亨に依つて主張せられ非政友者に反對せられたが今次漸く其の現出を見る先見の明あるものと後見の明あるものとの時代の遠離すること斯くも甚しきものかと當時市會議員たりし一老翁は長大息したと聞く。噫々